

COOP トリプルカード みやぎスマイル基金 助成活動報告書

団体名	宮城県学童保育連絡協議会
連絡先	(団体電話) 090-3752-1832 (飯田) (団体 FAX) 022-309-3706 (共同受信) (団体 e-mail) miyagi.gakudou@gmail.com (団体ホームページ)
代表者名	坂内 玲子 (役職) 会長

1. 助成事業報告

事業名	オンラインでの研修会、学習会の開催。地域を限定した小規模な学習会の実施。 寄せられた支援物資等を県内の学童保育に配布するなどを通して、各地域との情報交換を行う。
目的	学童保育は、ニーズの高まりとともに、その役割の重要性が認識されてきた。特に新型コロナウイルス感染症による学校の臨時休業の中、学童保育は、働く保護者のニーズに応えるため1日開所となり、支援員は厳しい環境の中での毎日に悩むことが多くなった。 研修会等で放課後児童支援員、保護者、運営者、その他関係者が学び合うことにより、それぞれの悩みを共有し、支援員は専門職としての意識が高まり、学童保育の質の向上へとつながると考えた。 新型コロナウイルス感染症のため、県内外での開催を予定していた研究集会、研修会の開催が困難になったが、この様な時こそ、現場で働く者同士の情報交換や専門家の方によるアドバイスを受ける場が必要と考え、オンラインで実施する。 また、寄せられた支援を県内各地の学童保育に届けながら、情報交換を行いそれぞれの悩みやニーズを知り、必要なつながりをつくる。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ●男女共同参画推進せんだいフォーラム 2020「第30回学童保育のつどい」参加(主催:せんだい男女共同参画財団 企画・運営:仙台市学童保育連絡協議会との共同) 2020年11月14日(土) 【参加者9名】 ●オンラインによる「全国学童保育指導員学校東北会場」開催(全国学童保育連絡協議会、東北各県学童保育連絡協議会共催) 2020年11月29日(日)【参加者864名 150回線、うち宮城県51名 34回線】 ●指導員学校参加希望者および運営スタッフのためのZoom練習会開催【7~11月21回開催、参加者のべ92名】 ●オンライン学習会「食による子どもの育ちを考える」連続講座(共催:岡山県学童保育連絡協議会) 2021年2月26日(金) 3月7日(金) 17日(水)【参加者のべ160名うち宮城県51名】 ●情報交換、ニーズ調査のための地域訪問(角田市、丸森町、亘理町、山元町) 2020年9月7日(月)

<p>開始から終了までの流れ</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対応のため 2020 年 7 月「全国学童保育指導員学校東北会場」同 10 月「全国学童保育研究集会」開催中止が決定した（指導員学校については延期も検討）。研修機会の確保のため、オンラインでの研修開催を検討。指導員学校講師予定の先生とオンラインでの学習会の検討を始め、運営出来る人材をつくるため、Zoom 練習会を開始する（2020 年 7 月）。2020 年 8 月に「第 46 回全国学童保育指導員学校東北会場」を 2020 年 11 月 29 日（日）にオンラインで開催することが決定し、開催のための準備会を再開した。</p> <p>2020 年 7 月から開始した Zoom 練習会を運営者の練習とともに、オンラインでの研修参加者を増やすことを目的として広く参加を呼びかけた。初めは参加者が限られていたが、指導員学校の案内配布とともに参加希望者が増えていき、指導員学校当日の参加につながった。</p> <p>男女共同参画推進せんだいフォーラム 2020 にも参加し、予備練習も兼ね、オンラインの経験を積んだ。</p> <p>指導員学校では、運営事務局として準備に関わり、当日は、仙台市市民活動サポートセンターから 2 講座を発信した。</p> <p>その後、オンライン学習会を先進的に開催している岡山県学童保育連絡協議会との共催で、指導員学校講座講師を務めていただいた宮城学院女子大学の平本先生を講師にお招きしてのオンライン連続学習会を企画、開催した。開催にあたり、オンライン配信用の機器（PC、マイク等）を購入した。（※指導員学校の際は、全国学童保育連絡協議会より機材を借用）</p> <p>企画していた地域への訪問は、9 月初めに県南地域を回り、研修等のニーズを聞きとるとともに、今後のオンラインでの研修会受講のための環境等を調査した。</p> <p>その後県北地域（気仙沼市、栗原市、登米市等）への訪問を予定していたが、県内での新型コロナウイルスの感染拡大のため、中止せざるを得なかった。</p>
<p>活動の成果と教訓</p>	<p>緊急事態宣言の混乱の中で学童保育の現場の要望に応えるため、オンラインによる研修、学習会の開催という経験したことのない事に取り組むことになった。</p> <p>すでに 3 月からオンラインでの勉強を始めていた方たちがおり、スタッフはそこに参加することから経験を積み重ね、指導員学校のオンライン開催、その後の学習会開催にこぎつけることが出来た。</p> <p>Zoom 練習会に参加し、その後開催された指導員学校に参加された方から、「Zoom の練習会があったからこそ、本日何の迷いもなく参加できました。」との感想が寄せられた。</p> <p>指導員学校に参加された方の感想は以下の通りである。 全体講義のテーマであった多職種連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や行政、地域の方や保護者との連携について悩み事もあるが、子どもの利益が一番。 ・対等な立場でという言葉が印象的。子どもの様子、行動を情報共有し、子どもへの最善の支援が出来たらと感じた。等

	<p>子どものために、様々な職種の方と連携する必要性とそのため何が大らかを学ぶ事が出来た。午後開催の3講座についてもそれぞれのテーマで学び、コロナ禍でほとんどの研修会が開催中止となった中、参加した方たちにとって大きな拠り所となったと感じられた。</p> <p>「食による子どもの育ちを考える」では、参加者が学童保育の生活の中で「食」がいかに重要かを認識することが出来た。講師を務めていただいた平本先生が、学習会での参加者とのやり取りを通して必要性を強く感じ、学童保育の食の衛生マニュアル作成、および調査研究を実施することになり、当会も協力することとなった。</p> <p>改善点等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後もオンラインでの研修、学習会を継続開催していくため、当会のスタッフがオンラインについてさらに勉強を重ね、経験を積むとともに、運営に関わるスタッフを増やしていくことが必要である。 ・オンラインの経験のない方を、オンライン研修会、学習会への参加につなげるため、初心者の方も参加しやすい練習会の開催など、参加を促す工夫が必要と思われる。
<p>今後の展望など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も学童保育の質の向上のために、研修の機会の確保、情報の収集と発信が必要である。 ・新型コロナウイルス感染症による日常生活の制限が続く中、オンラインのメリットを生かし、宮城県内にとどまらず全国とつながった活動が可能と思われる。 ・情報発信の方法を工夫し、県内のさらに多くの学童保育関係者とつながり、県連の活動を活発にしていきたい。

2. 助成金使途報告書

(1) 収入の部 (助成の対象となった事業の分のみ)

確保した資金内容	金額 (円)	備考
みやぎスマイル基金助成金	300,000	
参加費	52,000	指導員学校参加費¥1,000×41 学習会参加費¥1,000×11
自己資金	64,874	指導員学校参加費 (会員分) ¥1,000×10 含
合計	416,874	

(2) 支出の部 (助成の対象となった事業の分のみ)

費目	内容	予算額	実支出額	助成金からの支出額	領収書 No.
講師謝礼	オンライン学習会講師謝礼	30,000	30,000	20,000	No.1 No.2
オンライン関係諸経費	ZOOM 契約料	200,000	19,800	0	
	オンライン用機器購入		196,880	190,000	No.3 ~7
	オンラインスタッフ謝礼		23,000	20,000	No.8
交通費	指導員学校スタッフ	30,000	9,860	0	
	地域訪問交通費 (アドバイザー分含)		35,334	19,000	No.9~ No.11
参加費支援	指導員学校参加費支援	130,000	102,000	51,000	No.12
合計		390,000	416,874	300,000	

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

*収入の合計と支出の合計が一致していることをご確認ください。

3. 送付必要書類

(1) みやぎスマイル基金 助成活動報告書

(2) 領収書のコピー (助成金から支出した分のみ) 番号を振ってください

(3) 成果物 (活動をまとめた冊子、パンフレットおよび写真※など)

(※写真は HP に掲載可能なものを送付ください。)

男女共同参画推進せんだいフォーラム2020
第30回学童保育のつとめ

ZOOMを使って
オンラインで交流



コロナ禍と 働きながらの子育て

11月14日(土)13時半~16時

参加費 無料

子育てや学童保育への思いを語り合いましょう！

子どもが心配

マスクをいやがる！

落ち着きがなくなった

すぐ怒るし・・・学童保育で

どう過ごしてる？

親だってつらい

学童保育利用自粛だと

リモートワークもたいへん

仕事がなくなりそう

イライラしてくる

助言者の先輩保護者

石巻専修大学(心理学)

佐藤正恵先生

東北福祉大学(作業療法学)

小野治子先生

【申込方法】

氏名・立場(保護者等)

メールアドレス(URL送付先)

電話番号(ZOOMトラブル時に使用)

ZOO利用体験の有無

を記入し、下記にメール

Sendai.gakudou

@gmail.com

QRコードで

申込みメールが

作成できます



<http://mail-to.link/m7/bvmiqc>

問合せ・申込先

090-1930-4908

(池川)

sendai.gakudou

@gmail.com

企画・運営: 仙台市学童保育連絡協議会 宮城県学童保育連絡協議会
主催: (公財) せんだい男女共同参画財団

オンライン（ZOOM）による学習会

「食による子どもの 育ちを考える」

連続講座

日時

2月26日（金）10：00～12：00

講師

平本福子先生（宮城学院女子大学）

参加費

初回 無料

申し込み



右のQRコード(peatix)から または、
宮城県学童保育連絡協議会に【お名前、お立場】を
明記の上、メールでお申し込みください。

miyagi.gakudou@gmail.com（お問合せ・質問もこちらへ）



『日本の学童ほいく』で好評連載中の「食による子どもの育ち
を考える」(10月号～3月号)を通して伝えたかったことをお話
させていただきます。本をお持ちの方は、お手元にご用意の上、ご参加く
ださい。3月には、テーマを絞った発展講座を予定しています。

主催：岡山県学童保育連絡協議会
宮城県学童保育連絡協議会